

# 目 次

はしがき i

## 序 章 アメリカ現代史研究における「太平洋」…………… 1

- 1 「基地の帝国」アメリカ 1
- 2 アメリカ帝国主義論と冷戦史研究 4
- 3 脱植民地化研究とアメリカ「反植民地主義」 8
- 4 アメリカの太平洋戦略とミクロネシア 12
  - (1) 「アジア太平洋」論の台頭
  - (2) ミクロネシア統治をめぐる
- 5 本書の課題・構成 19

## 第1章 太平洋軍事戦略の萌芽……………25

- 1 第二次大戦開始前後のアメリカ海外膨張理論 25
- 2 太平洋航空基地リスト作成 29

## 第2章 米国務省の再編と戦後安全保障構想……………37

- 1 国務省各種諮問委員会の創設 37
- 2 安全保障小委員会の議論 39
- 3 戦後国際機構草案における「軍備」・「共同行動」 43
- 4 「警察力草案」起草における「基地」 47
- 5 「安全保障専門委員会」における太平洋安全保障構想 50

## 第3章 米国務省の国際信託統治構想と「自治」……………57

- 1 従属地域の将来をめぐる 57

- 2 「国際信託統治」草案の起草 59
  - (1) 政治小委員会における議論——議長ウェルズ
  - (2) 「国際信託統治に関する立案文書」の起草
- 3 植民地「独立」の強調 62
- 4 「独立」の強調から「自治」の強調へ 65
- 5 「国際信託統治制度」草案における「自治」と「基地」 69

## 第4章 国際信託統治制度の成立と「戦略地区」条項……………77

- 1 国際信託統治制度における「戦略地区」条項 77
- 2 ルーズヴェルトの「信託統治」概念——1942～43年 79
- 3 「連合国の植民地」への適用をめぐって 82
- 4 ミクロネシアに対する戦略構想と「領土信託統治」草案 86
  - (1) ミクロネシアへの適用をめぐって
  - (2) 「領土信託統治」案の起草
- 5 「戦略地区」概念の登場 90
  - (1) 国務省・統合参謀本部間の意見調整
  - (2) 「租借領域」の信託統治適用除外案
  - (3) 「閉鎖地区」概念
  - (4) 国務省における「戦略地区」概念生成の意味

## 第5章 「南太平洋委員会 (SPC)」の創設…………… 101

- 1 「南太平洋委員会」をめぐって 101
- 2 戦後世界秩序構想における「地域委員会」の位置 103
  - (1) 連合国首脳の間戦後構想と地域主義
  - (2) 国務省内諮問委員会による地域委員会構想
  - (3) イギリスの植民地政策案
- 3 安全保障戦略のなかの「地域委員会」構想 107
  - (1) 太平洋戦線の展開と国際信託統治構想の変容
  - (2) 「中央・南太平洋地域委員会」草案
  - (3) 「経済的社会的福祉」と安全保障基地の関係

- 4 「南太平洋委員会」の成立 112
- 5 太平洋地域のなかのミクロネシア 115

## 第6章 「ミクロネシア信託統治協定」の成立 ..... 121

- 1 第二次大戦終結後の太平洋基地戦略 121
- 2 ミクロネシア信託統治協定草案の起草 124
  - (1) 総合参謀本部の「主権獲得」案
  - (2) 国務省の「戦略的信託統治」案
- 3 ミクロネシア信託統治協定草案の成立 128
- 4 「直接関係国」の定義をめぐる外交交渉 131
  - (1) 憲章79条「直接関係国」の定義めぐって
  - (2) 「直接関係国」の定義限定化——イギリスとの交渉
  - (3) 信託統治協定草案提出手続きの簡略化めぐって
- 5 安全保障理事会での議論——1947年4月2日の決議 137

## 終章 「アメリカの湖」 ..... 145

- あとがき 155
- 参考文献一覧 159
- 事項索引 172
- 人名索引 175